

ビデオキャプチャーを使ったビデオのDVD化

せたな町立若松小学校

教頭 佐々木 朗

1. 見ることができなる時も近い？

今テレビの録画の主流っていうとDVD、ハードディスクというところでしょうか。最新はブルーレイかな。一昔前までは、VHSが主流でした。アナログテレビについていたVHSの録画機も、デジタルテレビの購入と共に、廃棄または、押し入れの奥にということが多いのではないのでしょうか。

コンピュータの記録メディアのことで歴史を振り返ってみると、私のパソコンを始めた30年前は、カセットテープに保存でした。「テープリードエラー」などの言葉が懐かしく思い出す方は、記憶にありますよね。その後、5インチのフロッピーディスク、そして、3.5インチのフロッピーが比較的長い間記録メディアの中心となりました。今、カセットテープに入ったデータを読めるシステムを持っている方、5インチのFDを読める方は、骨董品でも集めていない限り、いないんじゃないかと思います。3.5インチのFDにしても然りではないのでしょうか。こここのところパソコンにはもうつ



いていないのです。

映像の世界でも、似たようなことが言えます。8ミリはもうないでしょう。8ミリビデオテープも再生できる方は、希ではないのでしょうか。VHSや一昔前まで主流だったDVテープは、まだ現役のところも多いですし、再生マシンもまだ周辺にあります。

そして、学校のホールにあるテープの山を見て思いました。「そのうちに見られなくなって、ぜいぶん捨てられないだろうか。」と。

そこで、DVDにするには、どうしたらいいかなあとネットをプラプラしていたら、ビデオキャプチャーなるものを見つけました。外付け機器というより、変換ケーブルという感じでした。それも5000円ぐらい。どんなものか購入してみることにしました。オークションも探してみたら2000円ちょっとでゲットすることができました。



2. Buffalo PC-SDVD/U2G の紹介

私は、バッファローのUSB接続MPEGキャプチャーのPC-SDVD/U2Gを購入しました。

中身は、コードと、付属のソフトウェアです。

赤、白、黄のコードはビデオに差します。黒いのはS端子でついているビデオであれば、これを使います。パソコン側はUSBです。右側にある線は、USBの延長コードです。



最初にドライバと、ソフトウェアを読み込ませます。ソフトウェアの画面は右の通りで、キャプチャーする画質や時間、転送先フォルダを設定します。

VHSな

どの機器に線を接続し、再生を押すと、画面にテープの内容が映し出されます。あとは、赤いボタンをクリックすると、キャプチャーの開始です。

私は、「試しに」ということで、学校のホールの棚に並んでいた過年度の学習発表会の8ミリのDVテープをキャプチャーしてみました。

テープからの読み込みを終了させると、パソコン内の指定した場所に、mpgファイルとして保存されます。

私は、このソフトに付属している編集ソフトは使っていませんが、カットや重ね合わせ、タイトル挿入などの機能はありますので、使えそうです。

最後に編集したファイルをDVDに書き込みます。私は、このソフトにも書き込みがついていますが、私は慣れているWindows DVDメーカーを使いDVDに書き込みました。エンコードする時間はけっこうかかりますが、その間に他の仕事をしていても、大丈夫なようでした。



何年か分をDVDにしてみました。



メディアは、このあと中長期的に、記録メ

D V D に す る こ と に よ る メ リ ッ ト に つ い て 考 え て み ま し た 。
ま ず、
第 一 は、
D V D
と い う

ディアとして、汎用させるということです。
第二に編集がしやすいということです。D
VDの一部を編集するなどの場合は、頭出
しして、カットして編集してということが
すぐできるのがデジタルの強みです。

地上アナログ放送が今年で終了すること
から、VHSデッキを手放す人も多くなる
ことが予想されます。皆さんの家には、懐
かしい思い出のビデオの束はないでしょ
うか。パソコンとキャプチャーの機器があ
れば、時間をかけずに、思い出をDVDに
することができます。「もおいしいや、捨
ててしまえ。」という決断をせざるを得
ない時期が来る前に、是非試してみると
いいと思います。